

授業参観・赤十字救急法講習会・引き渡し訓練

授業参観週間（6月17日～23日）最終日の6月23日（日）は、日曜参観日でした。2校時に担任が授業（1年・社会～江戸すごろくで江戸時代を感じよう、2年・英語～It's 形容詞 to 動詞の原形を使ってみよう、3年1組・体育～親子で体力測定、2組・自立活動～タブレットを使って）を各教室で行いました。



1年・社会～江戸すごろくを使って親子で東海道を旅しました。地名が意外に難しく少し苦労しましたが、江戸時代を感じることができたかな？



3-2・自立活動～タブレットの音楽ソフトを使って楽しく演奏できました



2年・英語～英語の歌に始まり、ペアで英会話の学習がありました



3-1・体育～武道場で反復横跳びに長座体前屈などを行いました。測定に協力してくださった保護者のみなさん、お疲れさまでした。



【保護者のみなさんの感想から】 ・江戸時代の娯楽を通じて（江戸すごろく）遊びながらの

学びを子どもたちは楽しく習得できていた。参観日では、いつも楽しませていただいています。

- ・ There is active participation. The use of games make all students to be involved in the learning process. Sugoroku game was fun!
- ・ 友達同士で聞きあったり、カルタをしたり、楽しくアクティブな活動が組まれており、娘が英語が大好きといつも言っている理由がよくわかりました。
- ・ 自分の頃を思い返すと、文法を覚え、ノートに写すことが多かったように思うが、こんなにも話して、コミュニケーションをとりながら話して、英語に触れていいなと思いました。
- ・ All English による授業で耳が慣れてきていると感じました。
- ・ 家でも英語の歌を歌って楽しんでいます。 ・ 保護者参加型の授業、とても良かったです。
- ・ 子どもと授業を共有できてよかった。 ・ 中学生の体力の低下を感じます。
- ・ 記録が出るように頑張っていて、楽しそうでした。友だちと仲良くしている姿が嬉しかったです。
- ・ グループで助け合いながら、よい雰囲気での学習できていたと思います。
- ・ 親も自分の体力を知ることができてよかった。子どもも積極的に取り組んでいた。
- ・ 学校、教室がすっきり片付いており、生徒が集中できる学習環境が保たれていると感じました。集中して学んでいる姿を見て、うれしく思いました。

「心肺蘇生とAED」～赤十字救急法講習会

授業参観終了後、体育館に移動して日本赤十字山口県支部の4名の方による救急法講習会『心肺蘇生とAED』を実施しました。

日本赤十字社では、一次救命処置の動画をホームページで公開しています。

●ホームページ

<http://www.jrc.or.jp/study/>

●右のQRコードから携帯電話でもご覧になれます。



■ 心肺蘇生 (CPR) と AED ■

- ① 「人が倒れていた」・・・近づくその前に周囲の安全確認。
- ② 傷病者の反応（意識）を確認・・・肩をたたいて、声をかける。
- ③ 協力者を求める・・・119番とAEDの手配をお願いします。（下の写真左）
- ④ 呼吸を確認する ⇒ 胸骨圧迫を開始（下の写真中）
（30回～深さは5センチ、強く・早く・絶え間なく）できれば、人工呼吸2回
- ⑤ メッセージにしたがってAEDを使う（下の写真右）



【 生徒の感想から 】

- ・人が倒れていると今回の学習で、助けてあげたいと思いました。
- ・人工マッサージが結構きつかったです。AED はやり方がわからなかったけど、機械が説明してくれたのでびっくりしました。
- ・AED は見たことはあったけれど中身は見たことがなかったので、使い方も分かってよかったです。この学んだことを忘れないようにしたいです。
- ・AED の使い方では、貼る向きを片方間違えてしまったので、もし使わないといけない現場に逢ったら、間違えず焦らずに気をつけて使用したいと思いました。しっかりと思いだして、人助けができればいいなと思いました。
- ・ It was very educational and it's safe to safe I can do AED well now.



赤十字救急法講習会終了後、緊急時や災害等を想定した『引き渡し訓練』を行いました。引き渡カードを確認しながら、いざという時に備えて、真剣に行うことができました。



梅雨の合間の盛りだくさんの一日になりましたが、多くの保護者と学校運営協議会委員のみなさまにお越しいただきました。ありがとうございました。

～大変お世話になりました！